

日本薬学会九州支部特別講演会

演題：細胞がストレスを感じる仕組みと疾患

講師：一條 秀憲 先生

東京大学 大学院薬学系研究科・教授

東京大学 創薬機構・機構長

日時：平成 27 年 5 月 22 日（金）15:00～16:00

場所：長崎大学薬学部第二講義室（2 階）

要旨：ストレス応答は細胞が持つ最も基本的な生命現象のひとつであり、その破綻は、がん、神経変性疾患、免疫疾患、代謝性疾患などをはじめとする多様な疾患の発症要因となります。私たちの研究グループは、細胞の機能維持に深く関わる根源的なストレス（酸化ストレス、浸透圧ストレス、小胞体ストレス、ミトコンドリアストレスなど）と、私たちが世界に先駆けて明らかにしてきたそれらストレスの受容・認識の「鍵となるオリジナルな分子群」に焦点を当てながら、過去約 20 年間に亘り、一貫してストレス受容から細胞応答に至る一連のストレスシグナル分子機構の解明とそれに基づいた新たな創薬基盤の創成を目指してきました。

本講演では、次世代を担う若き研究者の方々を主な対象として、私がどのような経緯で基礎研究の重要性を認識し、そこに 30 年間没頭してきたかについてもご紹介させて頂くつもりです。今後もストレスシグナルに関わる分子群とその制御因子の解析をさらに発展させることで、細胞のストレス応答機構の解明とそれに立脚した創薬基盤の確立に迫りたいと考えています。

共催：下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター

連絡先：長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科

生命薬科学専攻 細胞制御学分野

武田 弘資

TEL: 095-819-2417

E-mail: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp